

熊本県の教育・学校についてのアンケート (子供からの意見聴取)

結果概要

令和6年11月
熊本県教育委員会

1. アンケートの概要

調査期間：令和6年10月9日(水)～10月29日(火)

調査対象：熊本県内の小学校(5～6年)、中学校、義務教育学校(5年生以上)、高等学校、特別支援学校(小学部5年生以上、中学部、高等部)に通う子供たち
※私立学校を含む、熊本市立の学校を除く

調査目的：第4期熊本県教育振興基本計画の策定に当たり、子供たちから直接、教育や学校生活に関する意見を聴くことで、教育ニーズを的確に把握し、より実効性のある教育施策の企画・立案等につなげる。

調査方法：WEBのアンケートフォーム(Microsoft Forms)による回答
(選択式＋一部自由記述)
各学校や市町村教育委員会に周知を依頼し、
児童生徒の端末や家庭のスマートフォンから任意で回答

回答数 : 26,721件
※対象者数(推定)は約92,600人であり、回答率は約29%

設 問 : 選択式＋記述式(次ページのとおりに)、
漢字使用版と主にひらがなを使用した版の2種類の回答フォームを用意

1. アンケートの概要

【アンケート設問】

- 1 あなたがいる学校は、次のうちどれですか。
- 2 あなたがいる学校は、公立、私立のどちらですか。
- 3 あなたが住んでいるのは、どの地域ですか。
- 4 あなたが、放課後に利用したいと思うのはどのような場所ですか。
- 5 あなたの学校は、一人一人の人権が守られていると思いますか。
- 6 あなたの学校が、より一人一人の人権が守られる学校になるために、最も必要な取組は何だと思いますか。
- 7 学校で行われる、避難訓練や防災の学習に興味がありますか。
(興味が無い人はその理由)
- 8 あなたが、授業の中で楽しいと感じるときはどのようなときですか。
- 9 しょうがいのある・なしに関係なく、みんなが共に学ぶために必要だと思うことは何ですか。
- 10 あなたは、やりたい仕事をどんな理由で決めたいですか。
- 11 あなたは、「学校の先生になってみたい」と思いますか。
(なってみたいと思う人はその理由)
- 12 授業の時間以外に、先生と話をすることはどれくらいありますか。
- 13 あなたが、文化や芸術について、見てみたい、体験してみたいと思うものは何ですか。
- 14 あなたが住んでいる地域で、運動やスポーツのイベントがあれば参加したいと思いますか。
- 15 あなたは、どのような部活動や運動クラブ、スポーツクラブだったら入ってみたいと思いますか。
- 16 パソコンやタブレットを使って、どんな勉強をしたいですか。
- 17 あなたは、今通っている学校のしせつやせつびに満足していますか。
(やや不満、不満の場合は何に不満を持っているか)
- 18 あなたが、学校や教育について「こうなったらいい」と思うことがあれば、自由に書いてください。(自由記述)

きょうりよく ねが
ご協力のお願い

くまもとけん きょういく がっこう
「熊本県の教育・学校に
ついてのアンケート」に
きょうりよく
ご協力ください！

ことし くまもとけん つぎ ねんかん きょういく ほうこうせい
○今年、熊本県では、次の4年間の教育の方向性や
とりく けいかく さくせい
取組みについての計画を作成します。

けいかく けんない
○よりよい計画にするため、県内のこどもたちに
きょういく がっこう かん おも かんが
教育や学校に関する思いや考えについてのアンケ
ートをおこなうことにしました。

○ぜひ、みなさんが教育や学校について、ふだん感
じていることを教えてください！

かいとう とき ひと てつだ
(ひとりでの回答がむずかしい時は、まわりの人に手伝っ
てもらって回答してもかまいません。)



くまもとけんきょういくいいん かいきょういくせいさくか
熊本県教育委員会教育政策課 ☎096-333-2699

たいしょう くまもとけんない しょうがっこう ねん ちゅうがっこう
対象：熊本県内の小学校（5～6年）、中学校、
きょういくがっこう ねんせいじょう こうとうがっこう
ぎむ教育学校（5年生以上）、高等学校、
とくべつ がっこう しょうがくぶ ねんせいじょう ちゅうがくぶ
特別しえん学校（小学部5年生以上、中学部、
こうとうぶ かよ
高等部）に通うこどもたち

きかん がつ にち すい がつ にち か
期間：10月9日（水）～10月29日（火）

○アンケートはこちらから（URLまたはQRコード）

アンケートは①と②があります。質問は同じなので、どちらか
こた ほう かいとう
答えやすい方で回答してください。

①漢字を使用 <https://forms.office.com/r/4PjyKz9fJ>

②主にひらがなを使用 <https://forms.office.com/r/QVDavlfhNC>

①漢字を使用



②主にひらがなを使用



・こんな学校がいいな
・こんなことを学びたい
・みんながなかよく過ごすには
こうしたらいい …



【保護者の皆様へ】

・このアンケートは、子どもたち
から直接、教育や学校生活に関す
る意見を聞き、よりニーズに沿っ
た教育施策につなげるために実施
するものです。
・学校名や名前を答える必要は
なく、個人情報を誰かに知られる
ことはありません。

2. 回答データの概要

1 あなたがいる学校は、次のうちどれですか。

○小学校(ぎむ教育学校の5、6年生を含む)	8,748	○特別しえん学校小学部	37
○中学校(ぎむ教育学校の7～9年生を含む)	7,185	○特別しえん学校中学部	41
○高等学校(高校)	10,584	○特別しえん学校高等部	43
		○その他	28

2 あなたがいる学校は、公立、私立のどちらですか。

○公立(県立や市町村立、組合立)	23,307
○私立	2,086
○わからない	1,136

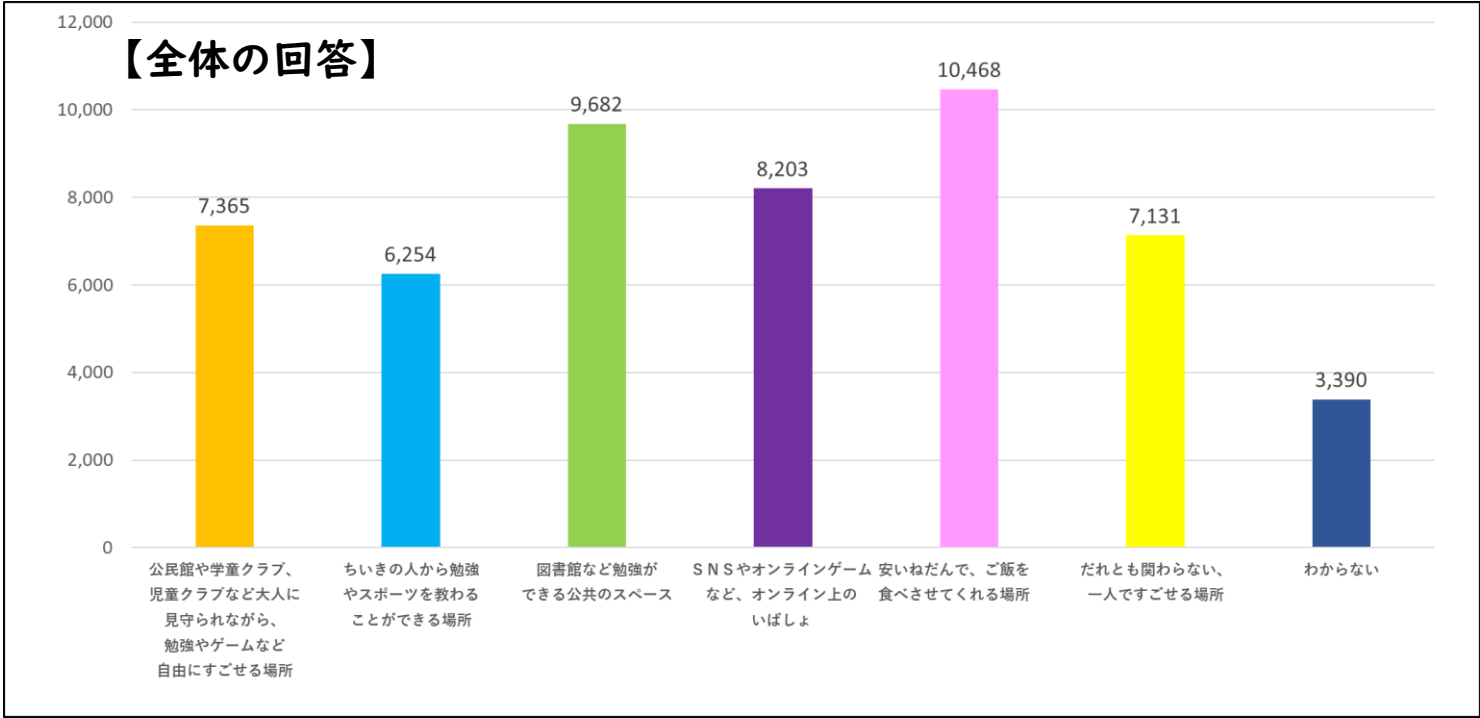
3 あなたが住んでいるのは、どの地域ですか。

○熊本市	3,891	○菊池市	881	○下益城郡	82	○球磨郡	1,563
○八代市	1,740	○宇土市	1,240	○玉名郡	685	○天草郡	125
○人吉市	800	○上天草市	469	○菊池郡	2,258	○熊本県以外	58
○荒尾市	1,479	○宇城市	1,287	○阿蘇郡	779	○わからない	90
○水俣市	496	○阿蘇市	746	○上益城郡	2,190		
○玉名市	1,197	○天草市	1,373	○八代郡	150		
○山鹿市	736	○合志市	1,835	○葦北郡	522		

※未選択で提出された回答があるので、各回答の合計と総回答件数は合致しません。
(この後の設問も同様)

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

4 あなたが、放課後に利用したいと思うのはどのような場所ですか。（3つまで選べます）



小学校・特別支援学校小学部	%
公民館や学童クラブ、児童クラブなど大人に見守られながら、勉強やゲームなど自由にすごせる場所	43.2
SNSやオンラインゲームなど、オンライン上のいばしょ	31.8
図書館など勉強ができる公共のスペース	31.5
ちいきの人から勉強やスポーツを教わることができる場所	30.4
安いねだんで、ご飯を食べさせてくれる場所	26.2
だれとも関わらない、一人ですごせる場所	23.6
わからない	12.9

中学校・特別支援学校中学部	%
図書館など勉強ができる公共のスペース	37.3
安いねだんで、ご飯を食べさせてくれる場所	35.1
SNSやオンラインゲームなど、オンライン上のいばしょ	33.1
公民館や学童クラブ、児童クラブなど大人に見守られながら、勉強やゲームなど自由にすごせる場所	28.2
だれとも関わらない、一人ですごせる場所	27.0
ちいきの人から勉強やスポーツを教わることができる場所	26.1
わからない	14.0

高校・特別支援学校高等部	%
安いねだんで、ご飯を食べさせてくれる場所	52.9
図書館など勉強ができる公共のスペース	39.6
だれとも関わらない、一人ですごせる場所	29.2
SNSやオンラインゲームなど、オンライン上のいばしょ	28.3
ちいきの人から勉強やスポーツを教わることができる場所	15.8
公民館や学童クラブ、児童クラブなど大人に見守られながら、勉強やゲームなど自由にすごせる場所	14.3
わからない	11.6

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

4 あなたが、放課後に利用したいと思うのはどのような場所ですか。（3つまで選べます）

【回答の傾向】

- ・小学生では、『公民館や学童クラブ、児童クラブなど大人に見守られながら、勉強やゲームなど自由に過ごせる場所』、中学生では、『図書館など勉強ができる公共のスペース』が最も回答の割合が高かった。
- ・『安いねだんで、ご飯を食べさせてくれる場所』は、学校段階が上がるごとに回答の割合が高くなり、高校生では50%以上が選択した。
- ・学校段階が上がることに『だれとも関わらない、一人ですごせる場所』の割合が増加した。

【県の取組みの方向性】

（計画P5～6 地域の教育力の向上）

地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、子供の居場所づくりを推進する

＜主な施策＞

◎「放課後子供教室」の設置促進と「放課後児童クラブ」との連携

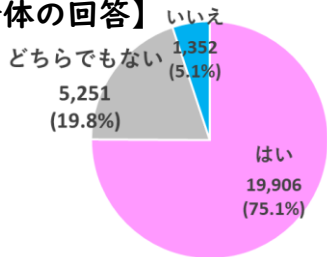
（参考：「こどもまんなか熊本・実現計画」中間整理（抜粋））

児童館、子ども会、こども食堂（地域食堂）や学習支援の場など地域にある多様な居場所、公民館や図書館などの社会教育施設などが、こども・若者にとってよりよい居場所となるよう取り組みます。

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

5 あなたの学校は、一人一人の人権（じんけん）が守られていると思いますか。

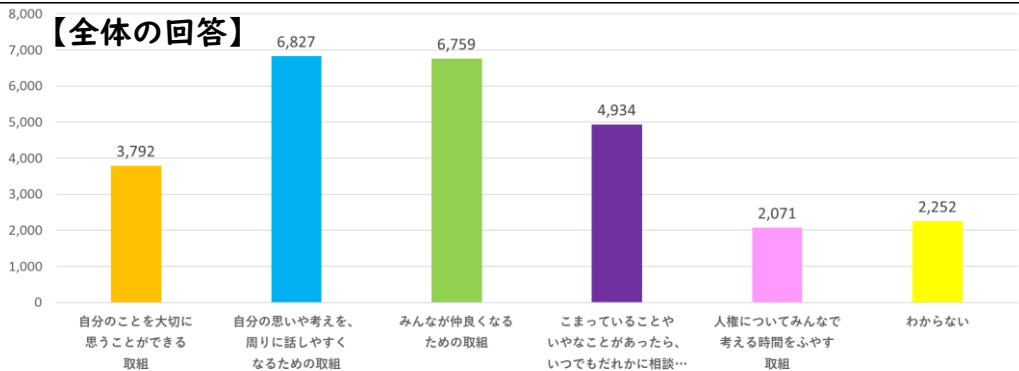
【全体の回答】



	はい	どちらでもない	いいえ
小	73.8%	20.7%	5.5%
中	75.3%	20.0%	4.6%
高	76.1%	18.8%	5.0%

6 あなたの学校が、より一人一人の人権（じんけん）が守られる学校になるために、最も必要な取組は何だと思いますか。

【全体の回答】



小学校・特別支援学校小学部	%	中学校・特別支援学校中学部	%	高校・特別支援学校高等部	%
みんなが仲良くなるための取組	28.9	自分の思いや考えを、周りに話しやすくなるための取組	27.2	自分の思いや考えを、周りに話しやすくなるための取組	29.6
こまっていることやいやなことがあったら、いつでもだれかに相談できる取組	22.3	みんなが仲良くなるための取組	25.7	みんなが仲良くなるための取組	22.1
自分の思いや考えを、周りに話しやすくなるための取組	19.4	こまっていることやいやなことがあったら、いつでもだれかに相談できる取組	18.0	自分のことを大切に思うことができる取組	17.2
自分のことを大切に思うことができる取組	11.5	自分のことを大切に思うことができる取組	13.2	こまっていることやいやなことがあったら、いつでもだれかに相談できる取組	15.6
人権についてみんなで考える時間をふやす取組	10.6	人権についてみんなで考える時間をふやす取組	7.8	人権についてみんなで考える時間をふやす取組	5.4
わからない	7.0	わからない	7.9	わからない	9.9

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

5 あなたの学校は、一人一人の人権（じんけん）が守られていると思いますか。

6 あなたの学校が、より一人一人の人権（じんけん）が守られる学校になるために、最も必要な取組は何だと思いますか。

【回答の傾向】

- ・人権が守られているか？の問いに対し、学年が上がるごとに『はい』と回答する割合が若干ではあるが増加した。
- ・必要な取組について、小学生では、『みんなが仲良くなる取組』、中学生・高校生では、『自分の思いや考えを、周りに話しやすくなるための取組』が最も回答の割合が高かった。
- ・『こまっていることやいやなことがあったら、いつでもだれかに相談できる取組』は、小学生は2番目に高いが、高校生で2番目に低い回答の割合となった。（『わからない』を除く）

【県の取組みの方向性】

（計画P8～9 人権教育の充実）

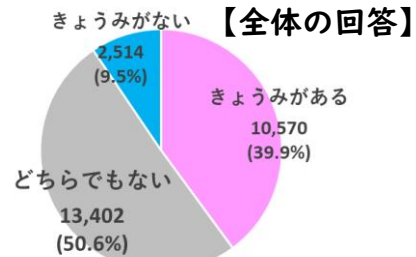
「熊本県人権教育・啓発基本計画」を踏まえ、県民一人一人が、自らの尊厳に気づくとともに、多様性を容認する共生の心を育み、物事を人権の視点で捉え、自分のこととして考え、行動できる態度を身に付けるための人権教育を総合的かつ計画的に推進します。

<主な施策>

- ◎「熊本県人権子ども集会」や「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の実施
- 人権に関する教職員用デジタル研修資料【部落差別（同和問題）、水俣病問題、ハンセン病問題、拉致問題、性的指向・性自認等】の提供と活用促進
- 熊本県私立中学校高等学校協会に組織されている推進協議会が行う研修事業への支援による私立中学・高等学校における人権同和教育の推進

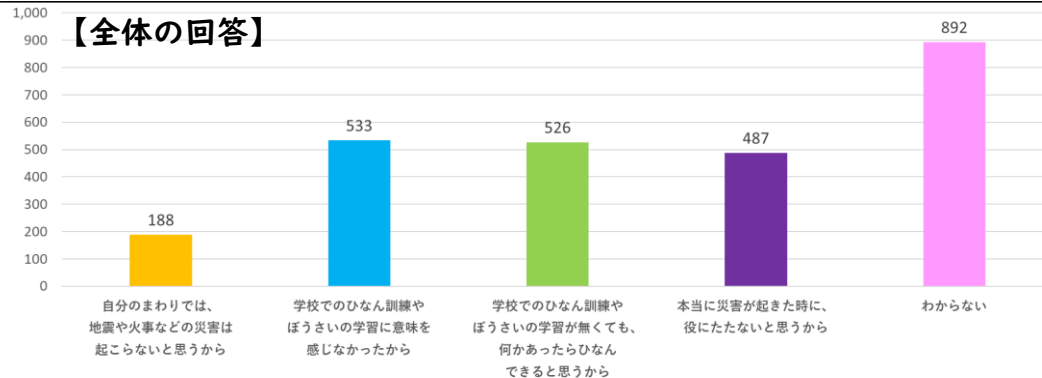
2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

7 学校で行われる、ひなん訓練やぼうさいの学習にきょうみがありますか。



	きょうみがある	どちらでもない	きょうみがない
小	49.3%	42.1%	8.7%
中	36.8%	52.6%	10.6%
高	33.7%	55.5%	10.7%

「きょうみがない」と答えた方にお聞きします。なぜ、きょうみがわからないと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。



小学校・特別支援学校小学部	%
学校でのひなん訓練やぼうさいの学習が無くても、何かあったらひなんできると思うから	21.4
学校でのひなん訓練やぼうさいの学習に興味を感じなかったから	13.9
自分のまわりでは、地震や火事などの災害は起こらないと思うから	12.6
本当に災害が起きた時に、役にたたないと思うから	12.5
わからない	37.2

中学校・特別支援学校中学部	%
学校でのひなん訓練やぼうさいの学習に興味を感じなかったから	20.7
学校でのひなん訓練やぼうさいの学習が無くても、何かあったらひなんできると思うから	19.6
本当に災害が起きた時に、役にたたないと思うから	18.8
自分のまわりでは、地震や火事などの災害は起こらないと思うから	5.6
わからない	34.0

高校・特別支援学校高等部	%
学校でのひなん訓練やぼうさいの学習に興味を感じなかったから	23.7
本当に災害が起きた時に、役にたたないと思うから	21.9
学校でのひなん訓練やぼうさいの学習が無くても、何かあったらひなんできると思うから	18.8
自分のまわりでは、地震や火事などの災害は起こらないと思うから	4.2
わからない	30.6

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

7 学校で行われる、ひなん訓練やぼうさいの学習にきょうみがありますか。

「きょうみがない」と答えた方にお聞きします。なぜ、きょうみがわからないと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。

【回答の傾向】

- ・興味があるか？の問いに対し、小学生では約50%が『きょうみがある』と回答したが、中高生では『どちらでもない』『きょうみがない』の割合が小学生と比べ高くなった。
- ・興味がない理由については、どの校種でも、『わからない』の割合が最も高く、それ以外では、小学生『何かあったらひなんできると思うから』、中高生『意味を感じなかったから』が最も回答の割合が高かった。
- ・『自分のまわりでは災害は起こらないと思うから』は、中高生で割合が低下しているものの一定割合の回答があった。

【県の取組みの方向性】

(計画P9～10 学校の防災・安全対策の推進)

平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨の経験を踏まえ、あらゆる災害に備え、防災に関する資質・能力を育成する防災教育と児童生徒等の安全を確保するための学校における防災管理の充実を図ります。

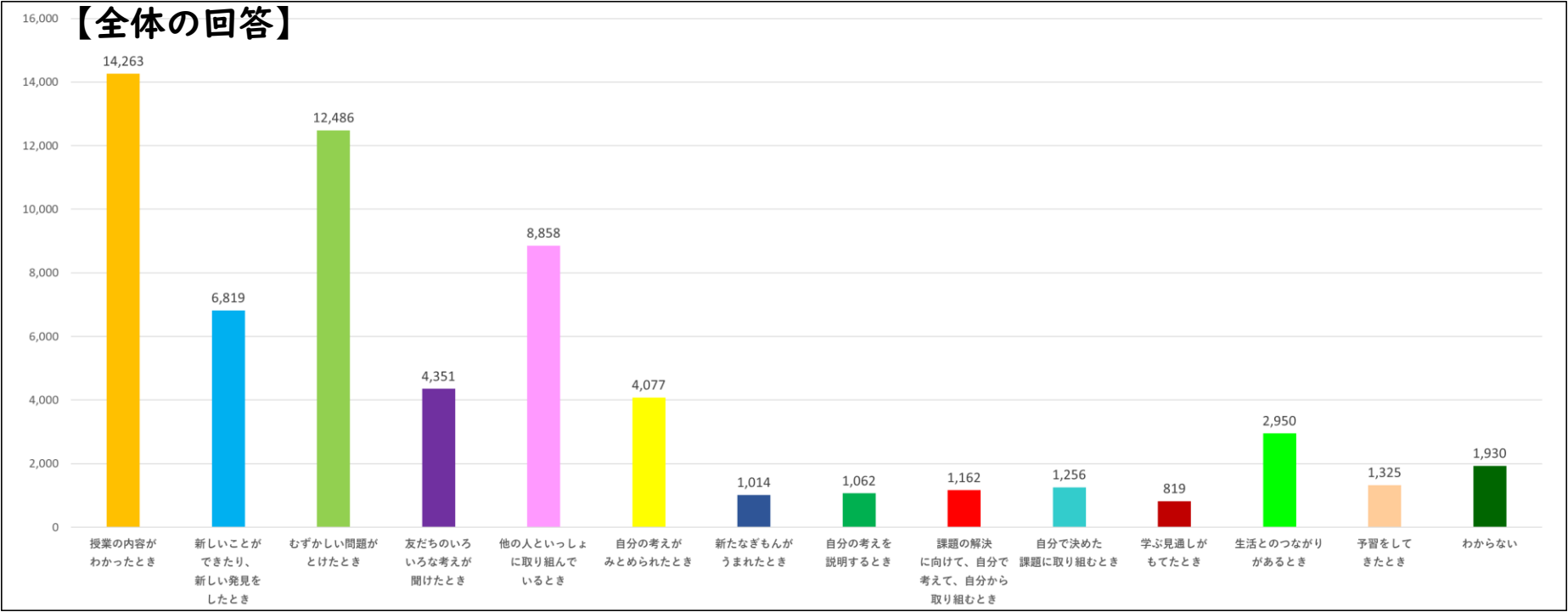
<主な施策>

○防災教育に関する手引等を活用した授業及び、緊急地震速報やスモークの活用、在校時間だけでなく登下校時に計画、保護者への引き渡しなど、地域と連携し、様々な状況を想定した実践的な避難訓練の推進

○防災主任研修会における、児童生徒向けの防災教育や学校安全に関する動画や教材の活用と紹介 ←アンケート結果を受けて、興味を惹くための取組を追記

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

8 あなたが、授業の中で楽しいと感じるときはどのようなときですか。（3つまで選べます）



小学校・特別支援学校小学部	%
むずかしい問題がとけたとき	51.7
授業の内容がわかったとき	47.6
他の人といっしょに取り組んでいるとき	29.6
新しいことができたり、新しい発見をしたとき	29.0
自分の考えがみとめられたとき	20.2
友だちのいろいろな考えが聞けたとき	15.0
生活とのつながりがあるとき	9.8

中学校・特別支援学校中学部	%
授業の内容がわかったとき	56.3
むずかしい問題がとけたとき	51.1
他の人といっしょに取り組んでいるとき	34.2
新しいことができたり、新しい発見をしたとき	24.7
友だちのいろいろな考えが聞けたとき	17.0
自分の考えがみとめられたとき	15.5
生活とのつながりがあるとき	9.6

高校・特別支援学校高等部	%
授業の内容がわかったとき	56.2
むずかしい問題がとけたとき	39.8
他の人といっしょに取り組んでいるとき	35.4
新しいことができたり、新しい発見をしたとき	23.2
友だちのいろいろな考えが聞けたとき	16.9
生活とのつながりがあるとき	13.0
自分の考えがみとめられたとき	10.9

※それぞれ選択肢のうち、回答が多かった順に7つを掲載

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

8 あなたが、授業の中で楽しいと感じるときはどのようなときですか。（3つまで選べます）

【回答の傾向】

- ・小学生、中学生、高校生どの段階でも『むずかしい問題がとけたとき』『授業の内容がわかったとき』が上位2項目であったが、小学生は『むずかしい問題がとけたとき』の割合が最も高い一方で、中高生では、『授業の内容がわかったとき』の割合が最も高くなった。
また、『むずかしい問題がとけたとき』の割合は、小・中学生に比べて高校生で低くなった。
- ・上位3項目以下は、どの段階でも『他の人といっしょに取り組んでいるとき』『新しいことができたり、新しい発見をしたとき』『自分の考えがみとめられたとき』『友だちのいろいろな考えが聞けたとき』『生活とのつながりがあるとき』の順番で、割合もおおむね同じであった。

【県の取組みの方向性】

（計画P11～13 確かな学力の育成）

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、児童生徒に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点によるICTの活用も含めた授業改善を進める必要があります。

小中学校等では、教員の学びの場を充実するとともに、子供たちが主体的に学習し、分かる喜びを実感できるように「誰一人取り残さない学びの保障」と「教員一人一人の『子供を学びの主体』とする授業力の向上」に向けて取り組みます。

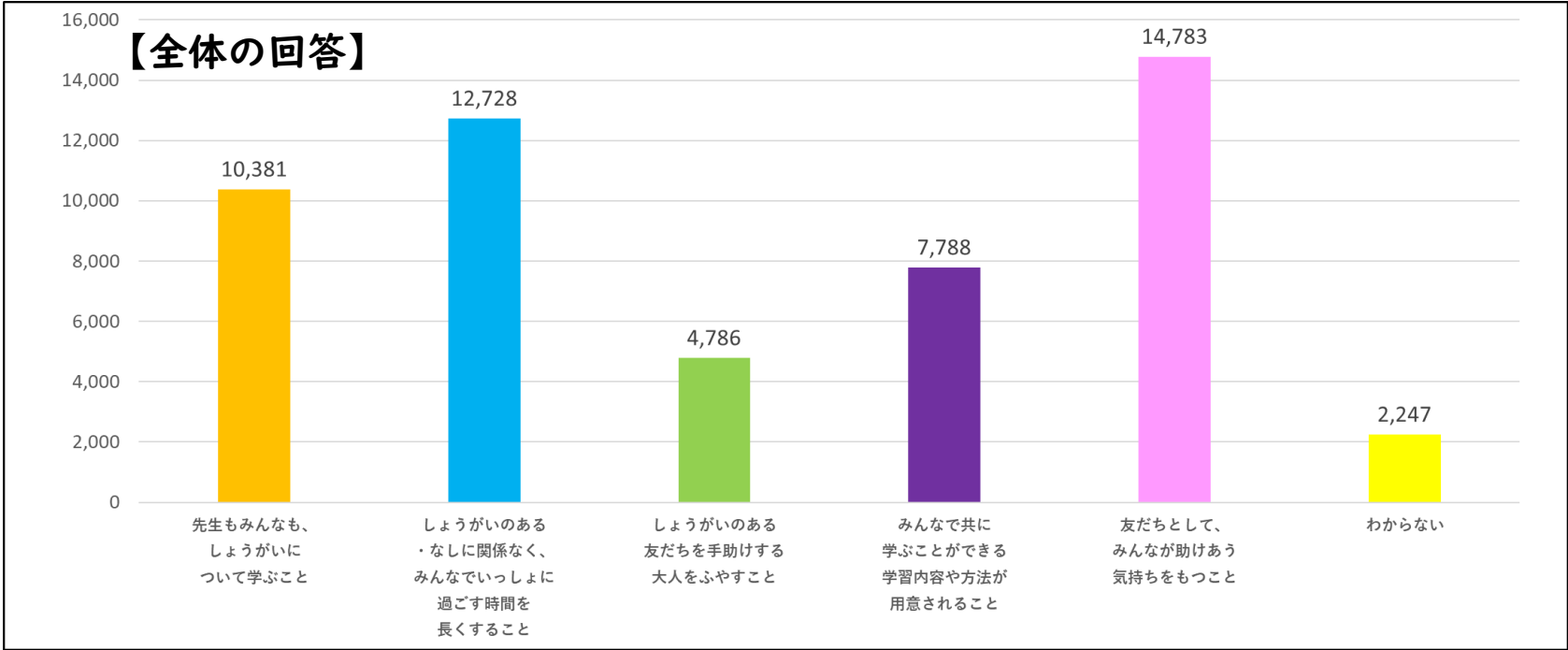
高等学校では、全ての生徒の将来の進学や就職などの夢を実現するため、中学校までに身に付けた基礎学力を土台とした授業づくりを進めます。また、各教科及び総合的な探究の時間等において探究的な学びを充実させ、次世代を生きるための資質・能力の育成を目指します。

<主な施策>

- ◎「子供を学びの主体」とする学習構想力や授業力の向上に向け、本庁、教育事務所及び教育センターと連携し、学力向上アドバイザーやスーパーティーチャーの活用、学校支援訪問や各種研修（オンライン含む）等の充実
- ◎1人1台端末の更なる活用促進を図るとともに、児童生徒の学習データの活用（個別最適な学び）を推進
- ◎高等学校における探究的な学びの充実 等

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

9 しょうがいのある・なしに関係なく、みんなが共に学ぶために必要だと思うことは何ですか。（3つまで選べます）



小学校・特別支援学校小学部	%
友だちとして、みんなが助けあう気持ちをもつこと	61.9
しょうがいのある・なしに関係なく、みんなでいっしょに過ごす時間を長くすること	54.2
先生もみんなもしょうがいについて学ぶこと	43.4
みんなで共に学ぶことができる学習内容や方法が用意されること	25.8
しょうがいのある友だちを手助けする大人をふやすこと	21.3
わからない	7.6

中学校・特別支援学校中学部	%
友だちとして、みんなが助けあう気持ちをもつこと	56.9
しょうがいのある・なしに関係なく、みんなでいっしょに過ごす時間を長くすること	49.1
先生もみんなもしょうがいについて学ぶこと	39.6
みんなで共に学ぶことができる学習内容や方法が用意されること	29.6
しょうがいのある友だちを手助けする大人をふやすこと	16.3
わからない	8.4

高校・特別支援学校高等部	%
友だちとして、みんなが助けあう気持ちをもつこと	49.0
しょうがいのある・なしに関係なく、みんなでいっしょに過ごす時間を長くすること	41.3
先生もみんなもしょうがいについて学ぶこと	34.7
みんなで共に学ぶことができる学習内容や方法が用意されること	31.7
しょうがいのある友だちを手助けする大人をふやすこと	16.3
わからない	9.0

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

9 しょうがいのある・なしに関係なく、みんなが共に学ぶために必要だと思うことは何ですか。（3つまで選べます）

【回答の傾向】

- ・小学生、中学生、高校生どの段階でも、最も回答の割合が高い選択肢は『友だちとして、みんなが助けあう気持ちをもつこと』であり、2番目は『しょうがいのある・なしに関係なく、みんなであいっしょに過ごす時間を長くすること』だった。
- ・また、3番目は『先生もみんなもしょうがいについて学ぶこと』、4番目は『みんなで共に学ぶことができる学習内容や方法が用意されること』だった。
- ・最も低い回答（わからないを除く）の割合は、『しょうがいのある友だちを手助けする大人をふやすこと』だった。

【県の取組みの方向性】

（計画P14～15 特別支援教育の充実）

障がいの有無にかかわらず、可能な限り共に学ぶことを追求するインクルーシブ教育システムを構築するため、特別支援教育の一層の充実を図ります。

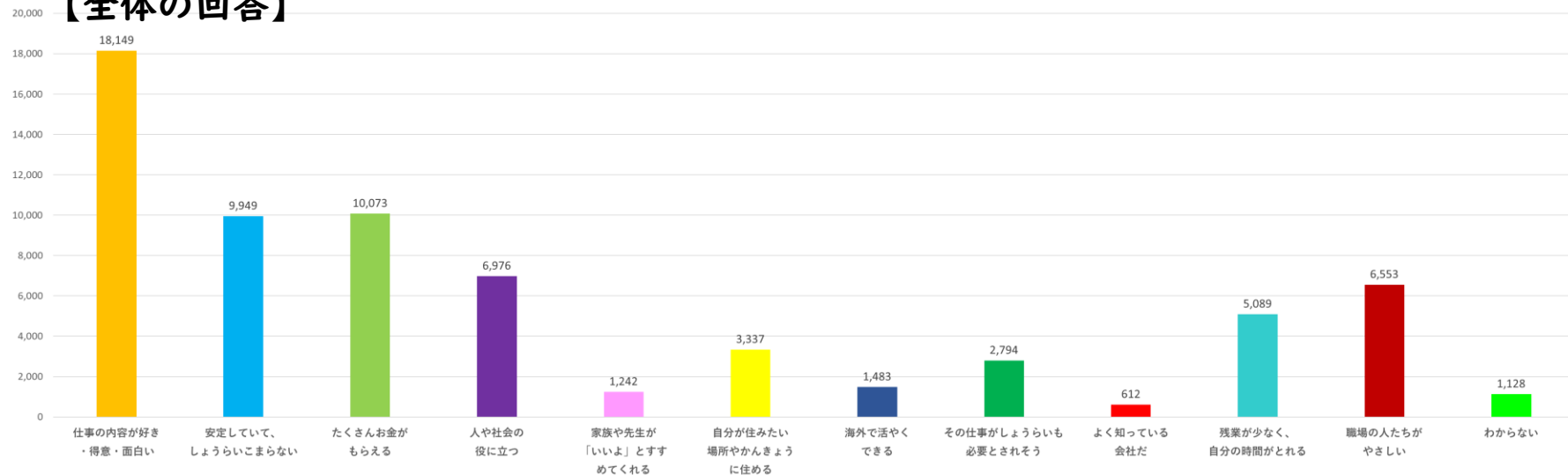
<主な施策>

- ◎特別支援教育支援員等の支援員配置の充実
- ◎高校段階における「通級による指導」を含む多様な学びの場の検討・充実
- ◎特別な教育的ニーズを的確に把握し、適切に学びの場や支援内容の検討を行うための共通の考え方に関する資料の普及・運用
- ◎特別支援学級担当者指導力向上研修、通級指導教室担当者連絡会等、専門性向上のための研修の充実 等

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

10 あなたは、やりたい仕事（職業や会社）をどんな理由で決めたいですか。
（3つまで選べます。）

【全体の回答】



小学校・特別支援学校小学部	%
仕事の内容が好き・得意・面白い	65.1
たくさんお金がもらえる	33.6
安定していて、しょうらいこまらない	30.5
職場の人たちがやさしい	29.1
人や社会の役に立つ	27.3
残業が少なく、自分の時間がとれる	17.6
自分が住みたい場所やかんきょうに住める	13.3
その仕事がしょうらいも必要とされそう	9.3
海外で活やくできる	8.0
家族や先生が「いいよ」とすすめてくれる	7.9
よく知っている会社だ	3.4
わからない	4.7

中学校・特別支援学校中学部	%
仕事の内容が好き・得意・面白い	70.8
たくさんお金がもらえる	39.0
安定していて、しょうらいこまらない	37.0
職場の人たちがやさしい	25.8
人や社会の役に立つ	25.0
残業が少なく、自分の時間がとれる	20.6
自分が住みたい場所やかんきょうに住める	12.7
その仕事がしょうらいも必要とされそう	10.0
海外で活やくできる	5.2
家族や先生が「いいよ」とすすめてくれる	2.3
よく知っている会社だ	1.9
わからない	4.7

高校・特別支援学校高等部	%
仕事の内容が好き・得意・面白い	68.6
安定していて、しょうらいこまらない	43.1
たくさんお金がもらえる	40.3
人や社会の役に立つ	26.0
職場の人たちがやさしい	20.1
残業が少なく、自分の時間がとれる	19.3
その仕事がしょうらいも必要とされそう	11.8
自分が住みたい場所やかんきょうに住める	11.7
海外で活やくできる	3.7
家族や先生が「いいよ」とすすめてくれる	2.5
よく知っている会社だ	1.7
わからない	3.4

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

**10 あなたは、やりたい仕事（職業や会社）をどんな理由で決めたいですか。
（3つまで選べます。）**

【回答の傾向】

- ・『仕事の内容が好き・得意・面白い』がどの校種でも6割以上の回答があり、最も多かった。
- ・2番目に多い回答は、小中学生では『たくさんお金がもらえる』だった。
『安定していて、しょうらいこまらない』の項目は、学校段階が上がるごとに高くなり、高校生では2番目に多い回答になった。
- ・『職場の人たちがやさしい』を選んだ割合は、学校段階が上がることに低くなった。
- ・小学生、中学生、高校生いずれも『人や社会の役に立つ』を選んだ割合は約25%だった。

【県の取組みの方向性】

（計画P16～18 キャリア教育の充実と産業人材の育成）

児童生徒が発達段階に応じ、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付け、将来の自分の進路を描くことができるよう、キャリア教育の充実を図ります。

また、地域（産学官）と連携したキャリア教育の推進及び就職支援等の取組により、地域社会で活躍できる人材の育成を図るとともに、県内就職率の向上並びに地域産業の発展につなげます。

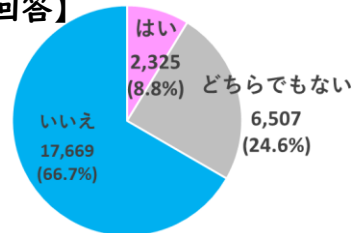
<主な施策>

◎地域（産学官）と連携したキャリア教育及び学習活動（熊本県版マイスター・ハイスクール事業）の推進

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

Ⅰ あなたは、「学校の先生になってみたい」と思いますか。

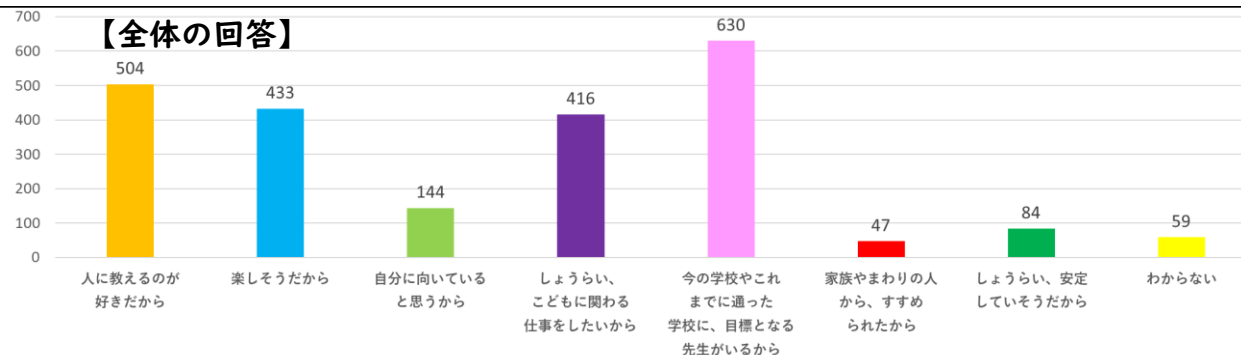
【全体の回答】



	はい	どちらでもない	いいえ
小	10.0%	30.0%	59.9%
中	6.6%	24.9%	68.5%
高	9.2%	19.7%	71.0%

「はい」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。
あなたの考えに最も近いものを選んでください。

【全体の回答】



小学校・特別支援学校小学部

%

今の学校やこれまでに通った学校に、目標となる先生がいるから

28.1

人に教えるのが好きだから

21.5

楽しそうだから

20.3

しょうらい、子供に関わる仕事をしたいから

19.2

自分に向いていると思うから

3.4

しょうらい、安定していそうだから

3.0

家族やまわりの人にすすめられたから

1.3

わからない

2.9

中学校・特別支援学校中学部

%

今の学校やこれまでに通った学校に、目標となる先生がいるから

29.2

人に教えるのが好きだから

18.2

楽しそうだから

18.2

しょうらい、子供に関わる仕事をしたいから

16.7

自分に向いていると思うから

6.8

しょうらい、安定していそうだから

4.4

家族やまわりの人にすすめられたから

3.0

わからない

3.2

高校・特別支援学校高等部

%

今の学校やこれまでに通った学校に、目標となる先生がいるから

25.1

人に教えるのが好きだから

23.6

しょうらい、子供に関わる仕事をしたいから

17.3

楽しそうだから

17.2

自分に向いていると思うから

8.4

しょうらい、安定していそうだから

3.8

家族やまわりの人にすすめられたから

2.3

わからない

2.0

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

ⅠⅠ あなたは、「学校の先生になってみたい」と思いますか。

「はい」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。
あなたの考えに最も近いものを選んでください。

【回答の傾向】

- ・「学校の先生になってみたいか」の質問に対し、『はい』と答えた割合が最も高かったのは小学生で、最も低かったのが中学生だった。
学校段階が上がるとともに、『どちらでもない』の割合が減り、『いいえ』の割合が高くなった。
- ・「はい」と答えた理由としては、どの校種でも『今の学校やこれまでに通った学校に、目標となる先生がいるから』が最も多い回答で、2番目に多かったのは『人に教えるのが好きだから』だった。

【県の取組みの方向性】

(計画P21～22 教職員の人材確保、人材育成)

教員志望者を増やすための取組や人材の掘り起こし等により教職員の人材確保に努める

(計画P21～22 教職員の働き方改革の促進)

子供たちを最前線で支える教職員の健康を守り、教職員のウェルビーイングの向上を実現していきます。

<主な施策>

(教職員の人材確保、人材育成)

◎大学3年生以下を対象とした説明会の実施等、教職員の採用に係る広報活動の強化

◎ホームページやInstagramを活用した情報発信、PR動画による魅力発信の継続

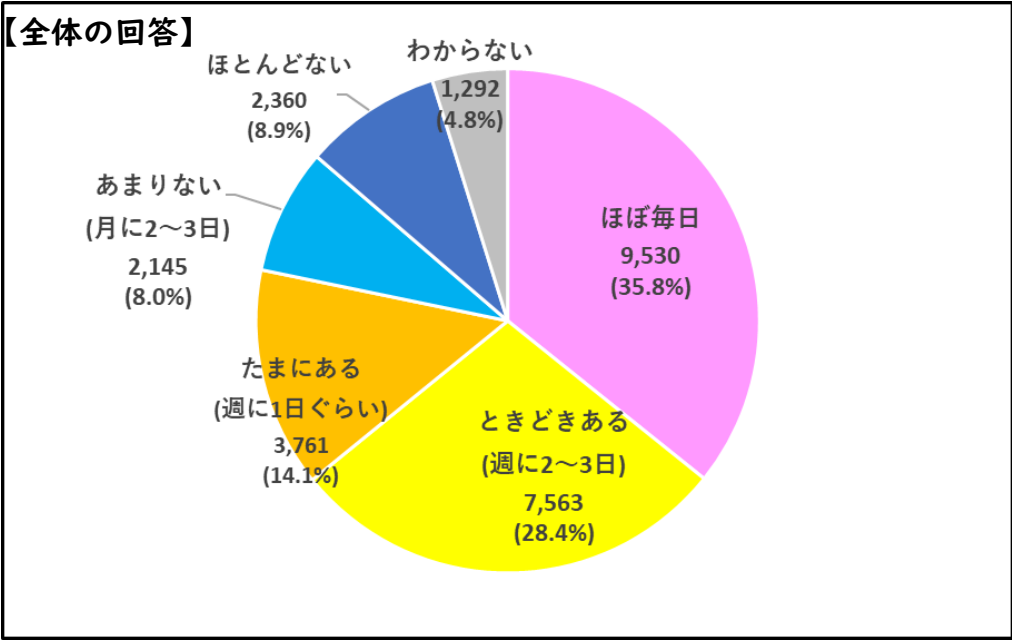
◎ペーパーティーチャー講習会の開催による教員免許所有者の発掘

◎大学・民間企業等との連携・協働による教職志望者の発掘

魅力発信の取組等を
追加しました

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

1 2 授業の時間以外に、先生と話をすることはどれくらいありますか。



	ほぼ毎日	ときどきある (週に2～3日)	たまにある (週1日ぐらい)	あまりない (月に2～3日)	ほとんどない	わからない
小	40.2%	27.5%	12.3%	7.0%	7.6%	5.2%
中	40.1%	27.2%	12.7%	7.1%	7.8%	4.9%
高	29.0%	29.9%	16.5%	9.5%	10.5%	4.5%

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

1 2 授業の時間以外に、先生と話をすることはどれくらいありますか。

【回答の傾向】

- ・全体では、『ほぼ毎日』が最も多い回答であり、『ときどきある（週に2～3日）』を含めると、64.2%となり、3人に2人程度の割合となった。
一方で、『あまりない（月に2～3日）』『ほとんどない』を合わせると16.9%となり、6人に1人程度の割合となった。
- ・小学生と中学生では、ほぼ同じような回答割合だったが、高校生では『ほぼ毎日』の割合が大きく減少し、話をする頻度が少なくなる傾向が見られた。

【県の取組みの方向性】

（計画P21～22 教職員の働き方改革の促進）

将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育成するためにも、その子供たちを最前線で支える教職員の健康を守り、教職員のウェルビーイングの向上を実現していきます。

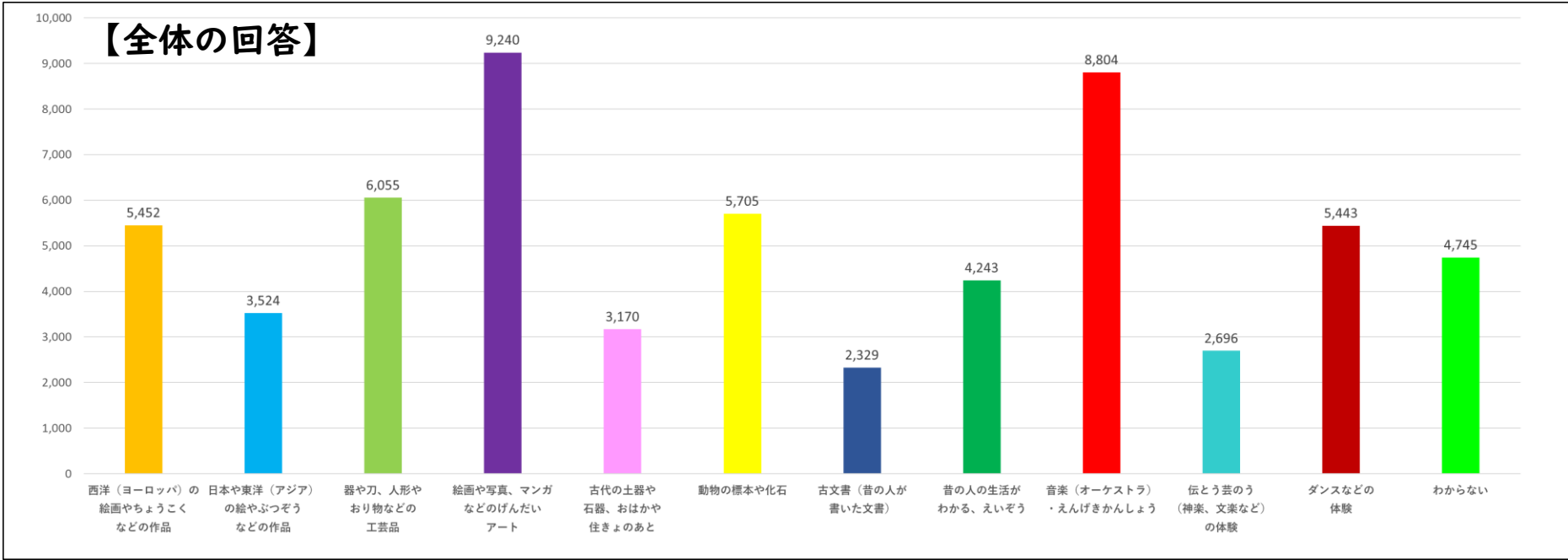
引き続き、人材の確保・活用、校務DX等による業務削減・効率化など、学校における働き方改革の取組を促進します。

<主な施策>

- ◎教頭業務支援員や教員業務支援員、特別支援学校サポーター、学校問題解決支援コーディネーター等、教職員を支援する人材の確保・活用
- ◎次世代型校務支援システムの導入やA Iを活用した校務推進等による校務DXの推進
- スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー等の専門人材の確保・活用
- 中学校の休日部活動の地域移行をはじめとした部活動改革
- 勤務時間の客観的把握による適正管理

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

13 あなたが、文化や芸術について、見てみたい、体験してみたいと思うものは何ですか。当てはまるものを全て選んでください。



小学校・特別支援学校小学部	%
絵画や写真、マンガなどのげんだいアート	34.5
器や刀、人形やおり物などの工芸品	26.6
動物の標本や化石	26.0
音楽（オーケストラ）・えんげきかんしょう	25.5
ダンスなどの体験	21.8
昔の人の生活がわかる、えいぞう	19.0
西洋（ヨーロッパ）の絵画やちょうこくなどの作品	16.7
古代の土器や石器、おほかや住きよのあと	15.8

中学校・特別支援学校中学部	%
絵画や写真、マンガなどのげんだいアート	36.7
音楽（オーケストラ）・えんげきかんしょう	31.8
器や刀、人形やおり物などの工芸品	22.7
動物の標本や化石	21.3
ダンスなどの体験	20.0
西洋（ヨーロッパ）の絵画やちょうこくなどの作品	19.4
昔の人の生活がわかる、えいぞう	16.3
古代の土器や石器、おほかや住きよのあと	12.2

高校・特別支援学校高等部	%
音楽（オーケストラ）・えんげきかんしょう	40.0
絵画や写真、マンガなどのげんだいアート	33.3
西洋（ヨーロッパ）の絵画やちょうこくなどの作品	24.2
器や刀、人形やおり物などの工芸品	19.5
ダンスなどの体験	19.5
動物の標本や化石	17.6
昔の人の生活がわかる、えいぞう	13.0
日本や東洋（アジア）の絵やぶつぞう	12.5

※それぞれ選択肢のうち、「わからない」を除き、回答が多かった順に8つを掲載

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

13 あなたが、文化や芸術について、見てみたい、体験してみたいと思うものは何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

【回答の傾向】

- ・小学生、中学生では『絵画や写真、マンガなどのげんだいアート』が最も選ばれた項目だった。『音楽（オーケストラ）、えんげきかんしょう』は、学年が上がるごとに回答割合が高くなり、高校生では回答の割合が高かった。
- ・『器や刀、人形やおり物などの工芸品』『動物の標本や化石』『昔の人の生活がわかる、えいぞう』は小学生の回答割合が高く、『西洋（ヨーロッパ）の絵画やちょうこくなどの作品』は、高校生で回答割合が高かった。

【県の取組みの方向性】

（計画P24～25 文化に親しむ環境づくり、文化財の保存・活用）

子供たちをはじめ、県民が地域に伝わる伝統文化や優れた芸術などに触れ、体験する機会の創出を通して、文化に対する関心を高め、文化財を大切にする心を育みます。

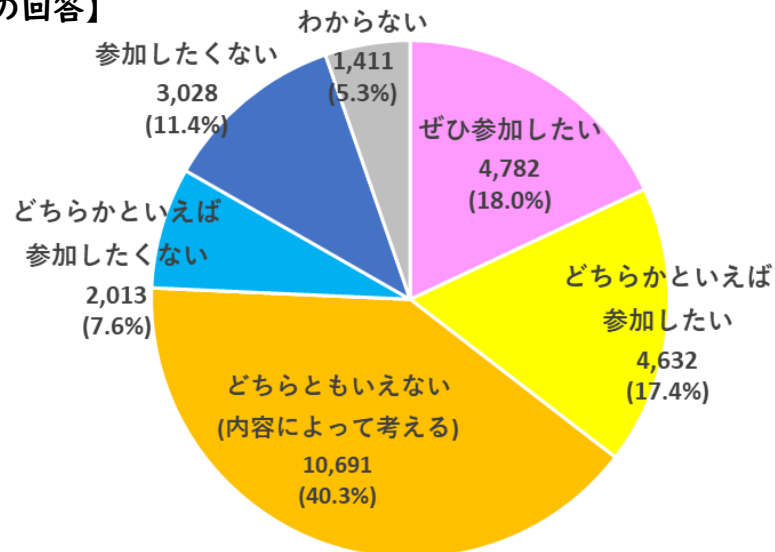
<主な施策>

- ◎県立美術館等における展覧会・巡回展等の充実や体験活動の推進
- ホームページやSNSを活用した情報発信の推進
- ◎地域の文化財を題材とした出前授業や体験活動、講座等の活用事業の推進

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

1 4 あなたが住んでいる地域で、運動やスポーツのイベントがあれば参加したいと思いますか。

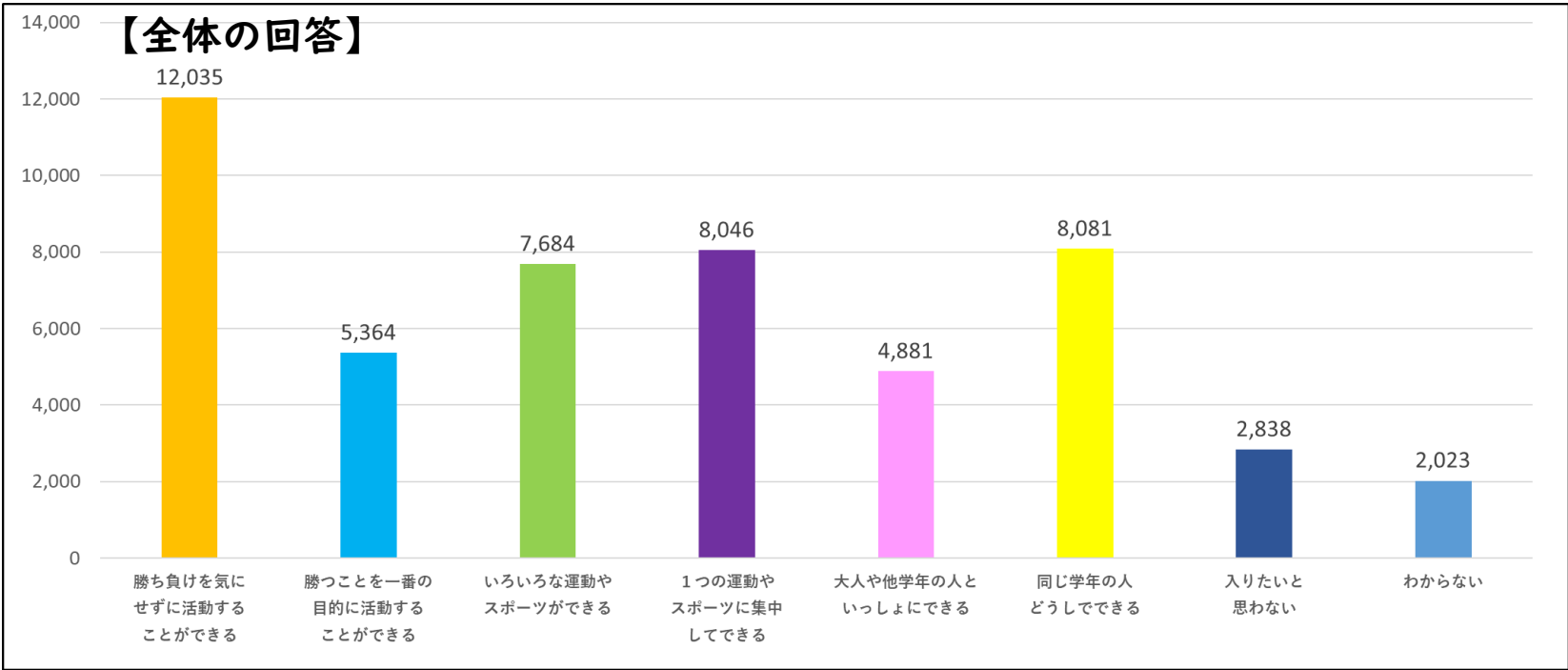
【全体の回答】



	ぜひ参加したい	どちらかといえ ば参加したい	どちらともいえ ない(内容に よって考える)	どちらかとい えば参加した くない	参加したくない	わからない
小	23.7%	18.6%	39.4%	6.0%	8.5%	3.3%
中	16.8%	16.9%	42.3%	7.7%	11.0%	5.0%
高	13.9%	16.7%	39.1%	8.7%	13.9%	7.1%

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

15 あなたは、どのような部活動や運動クラブ、スポーツクラブだったら入ってみたいと思いますか。（3つまで選べます。）



小学校・特別支援学校小学部	%
勝ち負けを気にせず活動することができる	51.3
同じ学年の人どうしてできる	40.0
いろいろな運動やスポーツができる	34.5
1つの運動やスポーツに集中してできる	31.5
勝つことを一番の目的に活動することができる	17.8
大人や他学年の人といっしょにできる	17.4
入りたいと思わない	9.5
わからない	6.5

中学校・特別支援学校中学部	%
勝ち負けを気にせず活動することができる	42.8
1つの運動やスポーツに集中してできる	33.8
同じ学年の人どうしてできる	32.2
いろいろな運動やスポーツができる	25.9
勝つことを一番の目的に活動することができる	22.9
大人や他学年の人といっしょにできる	19.3
入りたいと思わない	11.0
わからない	8.2

高校・特別支援学校高等部	%
勝ち負けを気にせず活動することができる	41.6
1つの運動やスポーツに集中してできる	26.5
いろいろな運動やスポーツができる	26.0
同じ学年の人どうしてできる	20.7
勝つことを一番の目的に活動することができる	20.1
大人や他学年の人といっしょにできる	18.3
入りたいと思わない	11.3
わからない	8.0

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

14 あなたが住んでいる地域で、運動やスポーツのイベントがあれば参加したいと思いますか。

15 あなたは、どのような部活動や運動クラブ、スポーツクラブだったら入ってみたいと思いますか。
(3つまで選べます。)

【回答の傾向】

- ・「運動やスポーツのイベントに参加したいか。」に対し、『ぜひ参加したい』『どちらかといえば参加したい』と回答したのは、合わせて35.4%だった。小学生が最も参加の割合が高く、学校段階が上がると割合が低下した。
- ・「どんな部活動やクラブだったら入りたいか」に対し、どの校種でも『勝ち負けを気にせずに活動することができる』が最も高く、小学生では50%以上の回答割合だった。
- ・『同じ学年の人どうしてできる』は、小学生が最も高く、学校段階が上がると低下した。中学生では、他に比べて『1つの運動やスポーツに集中してできる』『勝つことを一番の目的に活動することができる』『大人や他学年の人といっしょにできる』の回答割合が高かった。

【県の取組みの方向性】

(計画P24～25 県民のスポーツの振興)

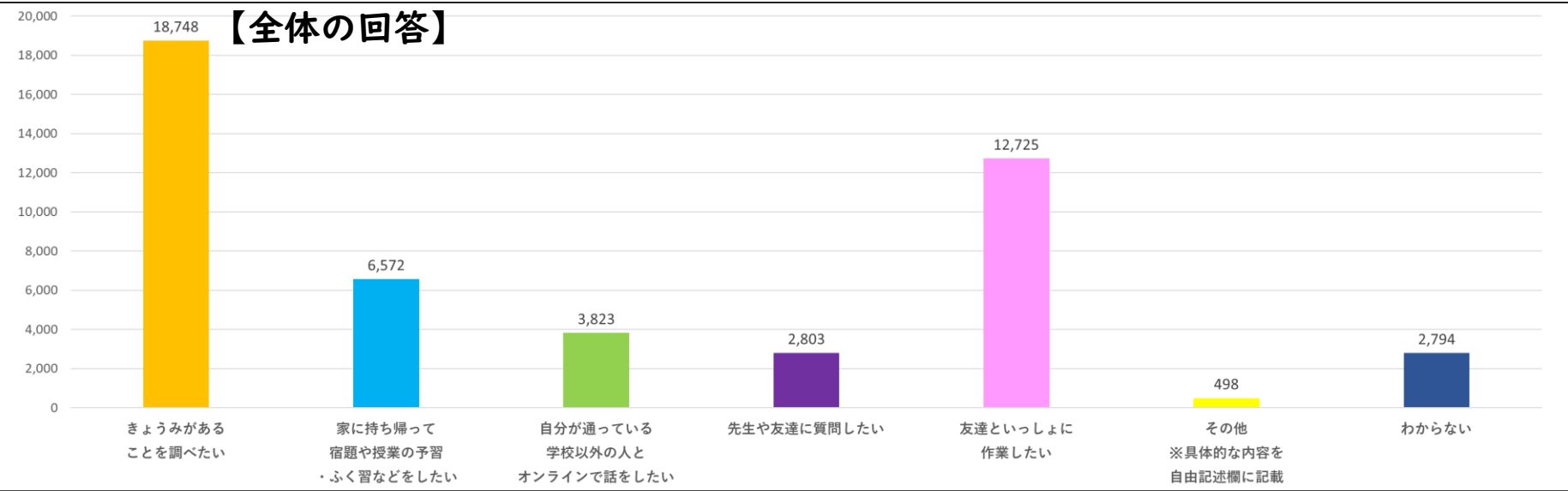
県民誰もが、ライフステージに応じて、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に合わせ、いつまでもスポーツに親しむことができる環境をつくり、運動習慣の定着を図ります。

<主な施策>

- ◎ライフステージに応じた運動習慣の定着に向けた取組
- 総合型地域スポーツクラブの設置及び加入の促進、指導者の育成
- 地域クラブサポーターバンクの充実
- 県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」の充実

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

16 パソコンやタブレットを使って、どんな勉強をしたいですか。 (3つまで選べます。)



小学校・特別支援学校小学部	%
きょうみがあることを調べたい	71.2
友達といっしょに作業したい	53.4
家に持ち帰って宿題や授業の予習・ふく習などをしたい	24.9
自分が通っている学校以外の人とオンラインで話したい	18.6
先生や友達にしまもんしたい	9.4
その他(具体的な内容を自由記述欄に記載)	2.8
わからない	9.8

中学校・特別支援学校中学部	%
きょうみがあることを調べたい	67.8
友達といっしょに作業したい	51.1
家に持ち帰って宿題や授業の予習・ふく習などをしたい	26.9
自分が通っている学校以外の人とオンラインで話したい	15.1
先生や友達にしまもんしたい	11.3
その他(具体的な内容を自由記述欄に記載)	1.4
わからない	10.9

高校・特別支援学校高等部	%
きょうみがあることを調べたい	71.1
友達といっしょに作業したい	40.6
家に持ち帰って宿題や授業の予習・ふく習などをしたい	22.9
先生や友達にしまもんしたい	10.8
自分が通っている学校以外の人とオンラインで話したい	10.2
その他(具体的な内容を自由記述欄に記載)	1.4
わからない	10.6

※自由記述欄に記載があった主な内容

- ・教科書が重いのでデジタル教科書を使ってほしい
- ・ノートの代わりにタブレットを使いたい
- ・タブレットを使ったオンライン授業で教育格差がなくなしてほしい
- ・持ち帰ってタイピングを練習したい
- ・プログラミングを勉強したい

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

16 パソコンやタブレットを使って、どんな勉強をしたいですか。
(3つまで選べます。)

【回答の傾向】

- ・どの校種でも、7割近くが『きょうみがあることを調べたい』を選択した。
続いて、『友達といっしょに作業したい』の回答割合が高かった。
- ・小学生では、『自分が通っている学校以外の人とオンラインで話をしたい』と回答した割合が中学生、高校生と比べて高かった。
- ・その他の自由記述意見として、デジタル教科書の導入やオンライン授業、タイピングやプログラミング学習の希望などが見られた。

【県の取組みの方向性】

(計画P21～23 教育DXの推進)

I C Tの活用による「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」の実現に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図ります。

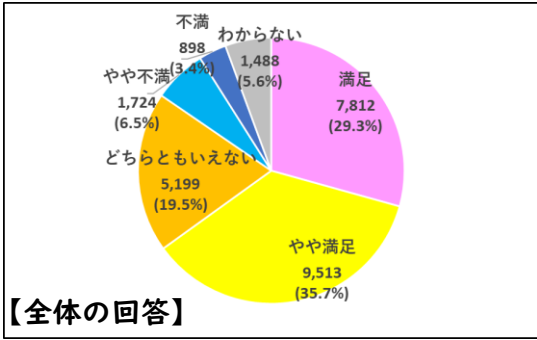
そのため、児童生徒の情報活用能力の育成、教職員のI C T活用指導力の向上及びI C T環境の整備の取組を促進します。

<主な施策>

- ◎県立学校と市町村立学校における1人1台の端末の整備（更新）
- ◎学習用コンピュータやデジタル教科書などの有効活用
- ◎教職員のI C T活用指導力の向上
- 学校を訪問し、教職員のI C T活用を支援するI C T支援員の配置

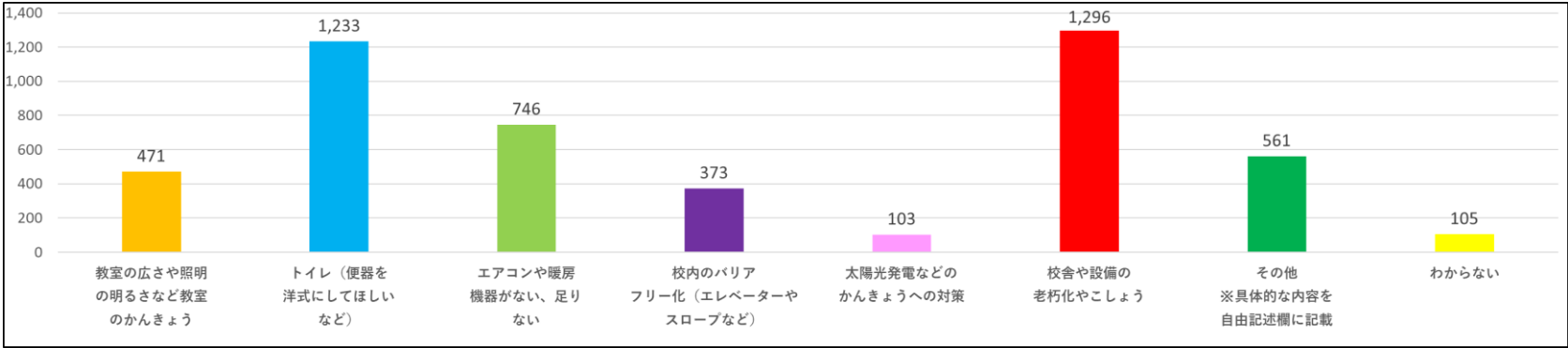
2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

17 あなたは、今通っている学校のしせつやせつびに満足していますか。



	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
小	39.3%	32.1%	15.6%	4.4%	2.4%	6.1%
中	29.9%	37.4%	19.0%	4.6%	2.7%	6.2%
高	20.6%	37.5%	23.0%	9.4%	4.6%	4.7%

「やや不満」「不満」と答えた方にお聞きします。どのようなことに不満を感じますか。（3つまで選べます）



小学校・特別支援学校小学部	%
校舎や設備の老朽化やこしょう	41.4
トイレ(便器を洋式にしてほしいなど)	41.2
その他	26.9
校内のバリアフリー化	24.9
教室の広さや照明の明るさなど教室の環境	20.4
エアコンや暖房機器がない、足りない	20.4
太陽光発電などかんきょうへの対策	7.0
わからない	6.7

中学校・特別支援学校中学部	%
校舎や設備の老朽化やこしょう	50.1
トイレ(便器を洋式にしてほしいなど)	38.3
その他	25.0
エアコンや暖房機器がない、足りない	23.8
教室の広さや照明の明るさなど教室の環境	19.2
校内のバリアフリー化	17.3
太陽光発電などかんきょうへの対策	6.7
わからない	4.2

高校・特別支援学校高等部	%
トイレ(便器を洋式にしてほしいなど)	52.5
校舎や設備の老朽化やこしょう	52.3
エアコンや暖房機器がない、足りない	33.4
その他	18.0
教室の広さや照明の明るさなど教室の環境	16.6
校内のバリアフリー化	8.9
太陽光発電などかんきょうへの対策	1.7
わからない	2.9

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

17 あなたは、今通っている学校のしせつやせつびに満足していますか。

「やや不満」「不満」と答えた方にお聞きします。どのようなことに不満を感じますか。
(3つまで選べます)

※自由記述欄に記載があった主な内容

- ・体育館に冷房をつけてほしい、教室が暑い
- ・喫煙所をなくしてほしい
- ・売店、コンビニが欲しい
- ・部室や部活動の施設を充実させてほしい
- ・男子も更衣室がほしい
- ・トイレが汚いので、キレイにしてほしい

【回答の傾向】

- ・小学生では、『満足』『やや満足』を足すと約69%だったが、学年が上がると割合が低下し、高校生では約58%だった。
一方で、『やや不満』『不満』をあわせた割合は、小学生・中学生では約7%だったが、高校生では14%に増加した。
- ・「どのようなことに不満を感じるか」については、『校舎や設備の老朽化やこしょう』と『トイレ（便器を洋式にしてほしいなど）』の割合が高かった。
高校生では『エアコンや暖房機器がない、足りない』の意見も多かった。
- ・その他の自由記述意見では、学校生活をより快適に過ごすための設備の充実に関するさまざまな意見が見られた。

【県の取組みの方向性】

(計画P21～23 学びを支える施設の整備)

県立学校施設長寿命化プランに基づき、建物の老朽化対策を計画的に進めます。

また、トイレの乾式化・洋式化やバリアフリー対策など、衛生、安全面にも配慮した誰もが使いやすい施設の整備を進め、魅力ある学校づくりを目指します。

<主な施策>

- ◎「熊本県立学校施設長寿命化プラン（個別施設計画）」に基づく学校施設の老朽化対策と衛生、安全面に配慮した整備

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

18 あなたが、学校や教育について「こうなったらいい」と思うことがあれば、自由に書いてください。（自由記述）

非常に多くの児童生徒から、さまざまな生の声をいただきました。
いただいた意見は、全てのデータを教育庁及び知事部局関係課で共有し、今後の施策の検討に活用させていただきます。ここでは、その中でも多く見られた意見を御紹介します。

【どの校種でも、共通で多かった意見】

・ いじめや差別、けんかが無い学校になってほしい	・ トイレをきれいにしてほしい
・ みんなが仲良く、楽しく過ごせる学校がいい	・ 授業時間外にスマホを使えるようにしてほしい
・ 休みの日を増やしてほしい	・ 障がいの有無に関係なく、平等に過ごせる学校になってほしい
・ 体育館を広くしてほしい、クーラーがほしい	・ 児童生徒1人1人の意見が尊重されてほしい
・ 休み時間や昼休みを長くしてほしい	・ 先生にはわかりやすい、面白い授業をしてほしい

【小学生で多かった意見】

・ 運動場を広くしてほしい、遊具が増えてほしい	・ 自分の好きなことを自分のペースで勉強したい
・ 給食を充実させてほしい	・ 図書館の本を増やしてほしい
・ 先生に気軽に相談したい	・ 制服ではなく、私服にしてほしい
・ 体育の授業を増やしてほしい	

【中学生で多かった意見】

・ 制服を選ぶようにしてほしい (女子でもブレザーやズボンを着れるなど)	・ 他の学年ともっと交流したい
・ 部活の時間をもっと長くしてほしい	・ 先生の厳しい指導を見直してほしい
・ 友達と一緒に作業や学習する時間が増えてほしい	

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

18 あなたが、学校や教育について「こうなったらいい」と思うことがあれば、自由に書いてください。（自由記述）

【小学生・中学生で多かった意見】

・男女関係なく、仲良く過ごせる学校がいい	・誰も人の悪口を言わない学校がいい
・宿題を減らしてほしい	

【高校生で多かった意見】

・文化祭、クラスマッチなどのイベントを増やしてほしい、充実させてほしい	・学校の回線が遅い、インターネット環境が改善されてほしい
・先生たちの負担が減り、給料があがってほしい	・部活動の設備や部室を整えてほしい
・売店や購買、自動販売機を充実させてほしい	・校則やルールを守らない人にきちんと指導をしてほしい
・通学用バスがほしい、バスの便数が増えてほしい	・学校が老朽化しているので、建て直してほしい
・課外や土曜授業を無くしてほしい	

【中学生・高校生で多かった意見】

・校則を見直してほしい、髪型を自由にしてほしい	・放課後に勉強できる場所、自習スペースがほしい
-------------------------	-------------------------

2. 回答データの概要と県の取組みの方向性について

18 あなたが、学校や教育について「こうなったらいい」と思うことがあれば、自由に書いてください。（自由記述）

多く見られた意見のいくつかについて、関連する県の取組を御紹介します。

①『休みの日を増やしてほしい』

⇒【県の取組】子供と家庭と一緒に休める環境整備「くまなびの日」（計画P5、P12）

- ・今年度から、熊本県立の中学校、高等学校、特別支援学校で、子供が保護者等とともに、校外で体験的な活動を行うとき、「欠席」にせず、「出席停止・忌引等」と同様に扱う制度を試行中。
- ・課題を検証のうえ、来年度からの本格導入を目指すとともに、市町村教育委員会にも参加を呼びかけているところです。

②『学校の回線が遅い、インターネット環境が改善されてほしい』

⇒【県の取組】ネットワークの増強等の取組（計画P21、22）

- ・1人1台端末やデジタル教材の更なる活用を促進するにあたり、ネットワークアセスメント（ネットワークの性能や通信経路の調査・分析）等を適切に実施し、必要に応じたネットワークの増強を行います。

③『校則を見直してほしい』

⇒【県の取組】各学校における校則の点検及び見直し

- ・教育庁では、令和3年度に各県立学校に対し、校則を点検し、必要かつ合理的な範囲を逸脱している場合は、見直しを行うよう依頼を実施。
- ・校則の見直しにあたっては、児童生徒もしくは保護者が何らかの形で携わるような手順を取ることで統一した。

計画P27 子供からの意見聴取・対話の＜主な施策＞に、

「○校則の点検及び見直しにおける当事者等の意見聴取」を追記